



笑顔・歓喜・希望

太陽の下で父と子が
 楽しそうにたわむれている。
 つないだ手と足と体全体から
 子どもの心が聞こえてくる。
 本当の子どもの気持ち。

(浜保育所父親参観より)

主な内容

- 教育フォーラム……………②～⑧
- 消防競技大会……………⑨
- トピックス……………⑩～⑪
- 町民のひろば……………⑫～⑬
- 父 遠藤 新……………⑭～⑱
- お知らせ……………⑲～⑳

学校週5日制
9月スタート

▶高田久夫相双教育事務所次長が
基調講演



期待と不安の中、教育フォーラム開催



求められる意識改革

今年の九月から毎月第二土曜日を休みとする学校週五日制が公立の幼稚園、小中学校、高校、盲、聾、養護学校でスタートします。明治の学制公布以来、百二十年ぶりの大きな教育改革。新聞やテレビ等で学校週五日制に関する報道がされるなか、家族や子どもたちに戸惑いや不安の声があります。

一方、学校に頼りすぎていた教育の役割を家庭や地域に取戻し、子どもの生活全体を見直す、いい機会だと前向きにとらえる声も多く聞かれます。

町教育委員会では、六月二十日農村環境改善センターにおいて、学校週五日制の実施を前に「心豊かにたくましく生きる人間の育成」をテーマに、活発な意見交換がなされました。

今回は、教育フォーラムを特集し、これからの新地町の教育の在り方を考えてみたいと思います。

問題提起

心が育ちにくい時代だが しつけ教育こそ家庭で

水戸俊一さん

フォーラムには、町内PTA、教育関係者約百五十人が参加。荒町長、目黒教育長のあいさつの後、高田久夫相双教育事務所次長が学校週五日制の目的と導入後の学校、家庭、地域の役割について講演。

その後、研究協議に移り、水戸俊一さん（町小中学校PTA連絡協議会）が家庭教育、橋本昭子さん（保育所職員）が幼児教育、高野逸夫さん（町内小中学校教頭代表）が義務教育、畠山熙一郎さん（新地高校教頭）が高校教育について問題提起を行いました。

私は昭和二十四年生まれで小学五年生を頭に三人の子どものを見て感じていたことをお話しします。私たち子どものころから何がかわって来たのか。家庭で何が出来るのか。学校週五日制について気が掛りなことを話したいと思います。子どもをとりまく

環境は昭和三十年代から大きく変化してきたことと思います。電気釜に始まりテレビ、洗濯機、冷蔵庫等の電化製品の普及、外に出れば自転車からオートバイへ、そして自家用車へと、今や一家に二台、三台となつていきます。また、テレビや雑誌による

氾濫ともいえる情報の豊かさ、食物の豊富さなど私たちが育った環境とは大きく違っていることは事実です。食卓をとらえてみても、子どもが選んでも食べられる量があり「なんでも食べなさい、好き嫌いをなくしなさい。」と親が叫んでも無理があります。物に対する考え方も同様で「物を大切にしなさい」と言っても、親が思う度合いと子どもが感じてる度合いとはかなりのギャップがあります。大切に使う心が育ちにくい環境にあります。

家庭において出来る教育とは、第一に健康で悪いことをしない子どもに成長して欲しいと願うのは誰でも同じだと思います。家庭で教えるべきことは、しつけ教育があると思います。子どもたちは生ま

れた時から親を見て育っていますから、先程話した偏食ひとつをとらえて見ても親が平気で好き嫌いがあるにもかかわらず、子どもに対して何でも食べなさいと強要しても無理があるように思います。親が子どもにしてほしいと思つたことは、親が行動して繰り返し繰り返し教えていくしかないのではないのでしょうか。

今、共稼ぎの家庭が多く、親子が接する時間が極端に少なくなつていくのが現状です。スキミングを大事にしなさいといつても、私にしても、朝一時間、夜二時間の一日三時間位です。私は、相馬に勤務していますが、これが仙台になるともっと少ない時間だと思えます。そういう中で教えることは実際大変なことなのですが、しかし、時間がな

メモ

学校週五日制スタートまで、昭和六十一年、臨時教育審議会（臨教審、首相の諮問機関）の第二次答申で検討課題に取り上げられ、平成元年度に調査研究協力者会議で検討を始めた。平成四年二月に同会議の最終まとめが行われ、同三月二十三日付で学校教育法施行規則（文部省令）が出された。県教委ではこれを受け、同四月に学校週五日制の実施方針案を策定した。



いといつても、パチンコやゴルフをする時間はあるという人は、親として子どもと接する時間を多く持つよう努力する必要があります。勉強面においては、親が十回ほめるより、先生のひとつの丸、花丸が子どもにとっては大変うれしく効果的の自信につながるものと感じていきます。

最後に学校週五日制ですが、大手企業や公務員等は週五日制が増えています。そうではない所に勤めている親も多いと思います。そういった中で



水戸俊一さん（新地町）
昭和24年生れ、42歳。
町小中学校PTA連絡協議会副会長。アルプス電気(株)勤務。

子どもたちとの対応をどうしたらいいのか。我々として感じることは地域としての受け皿です。指導者として専門知識を有した人材育成が必要だと感じています。学校週五日制は、当面月一回なのでそ

う心配はありませんが、親の職業により土曜日が休めない家庭の子どもに対する対応が必要ではないかと思えます。とりとめない話になりませんが、以上で終わりたいと思います。

幼児教育の原点である 食事と家庭を見直そう

橋本昭子さん

激しく変化した日本の社会、近年の核家族化や母親就労の増加、出生率の減少などにより子育てにも多くの影響を与えています。「三つ子の魂百までも」のとわざどおり、人間の心身の発達形成は、幼児期に

決まると言われています。特に、子どもをとりまく環境は、子どもの心の状態に大きく影響することから、環境条件を整えてやるのが大切です。幼児本来の姿は遊びであり、遊びは心と体を育てる上で欠くことが出来ません。しかし、



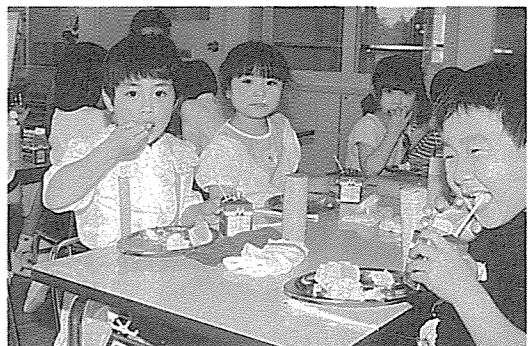
橋本昭子さん(藤崎)
昭和29年生れ、38歳。
福田保育所主任保母長。

現実には遊びを知らない、遊べないなどが原因で精神的にねばりが乏しく、友だちに対し関心が薄く相手の気持ちや立場を考えることが出来ない感性の乏しい子も見られます。

また、家庭においてもテレビゲームが氾濫し、自然の中でのびのびと遊ぶ姿がなくなってきたりするように思えます。

食事面を見ても、子どもたちをとりまく食生活は飽食の時代となり、食生活は多様化する一方で、また、季節感もうすれいつでも、どこでも、どんなものでもスーパーにいけば買えば買われ、野菜の生長や収穫時期を感じとれなくなってきたりします。

このようなことから、保育所では、子どもたちが食べることを楽しみとし、意欲的に食べられるにはどうすればいいか、どのようにしたら「心を育む」ことができるかを、自然とのふれあいを通し野菜作りに取り組んできました。活動においては、子どもたちと一緒に種や苗うえ、草むしり、生長の様子を観察して収穫等の作業を行いました。



▲ 食事は文化だ (保育所の昼食風景)

単に食べなさいというだけでなく、食べられるようになるまでの過程、心の育ちの大切さをどう育てるかが最大の課題でした。何よりも子どもたちが見たり触れたりすることにより野菜に愛着を覚え、野菜嫌いな子も、自分で手掛けた野菜をおいしそうに食べたことは喜ばしいことでした。更に、「食べた」という感動が伝わり、「野菜がお腹の中で喜んでくれるよ」と励みや自信となり、仲間意識や集団作りを高めることになりました。このように、野菜作りは、自然と切り離せないものであると共に、友達が美味しそうに食べるのを見て「自分も食べ

てみよう」という気持ち、更に「食べておいしかった」という満足感など友達から学びとることが数多くありました。集団生活を通し、友達と関わりや励ましが何よりも食事への意欲につながりました。体づくりは、心づくりと言われ、心づくりの基礎である幼児期を考えて見る必要があるのではないのでしょうか。

幼児教育の原点は家庭にあると言われています。私たちは目でみて結果を出しながら、子どもの内面を見ていないような気がします。子どもが問題を起こしたとき、親は子育ての失敗に気づくと言われます。しかし、親子共々理屈が先行し、子どもはますます反発し親の嘆きは全く伝わりず言葉だけの攻撃になるだけで、心の疎通はなかなかできないようです。子どもにはちよつとした言葉をかけてやるのが励みになることを忘れてはならないと思います。「あなたがいて本当によかった」とその嬉しさを素直に語れるような素朴な関係を持ち、さまざまな困難と一緒に立ち向かうことができるよう、親子の触れ合いがますます大切になっていきます。

また、地域の人との交流をもち、自然の恵みを大切に受け止めながら、幼児の心をつめ、十年、二十年後の成長を考え、「心と体を穏やかに育てる」ことが「心豊かにたくましく生きる」ことにつながるのではないかと思います。

忙しい今だからこそ人格形成の大切な幼児期を子どもとの触れ合いを通して、もう一度見つめ直す時にあるのではないのでしょうか。これで、幼児教育の立場からの問題提起を終わらせていただきます。

親の責任で教育を考え、 地域の教育力を高めよう

高野逸夫さん

私の方からは一、町内の小中学生の特徴、二、学校週五日制との関連、三、休みとなる土曜日を子どもたちはどう過ごしたいと思っているか、四、当地域で考えられる活動、五、家庭との関わりについて、そんな順序で話したいと思えます。

まず長所については、明朗素直で勤労生産や与えられた仕事は責任をもってやりとげる。学習態度は明るく、作業的学習やドリルの学習をこのんでやる。あいさつがよく、おもいやりがあり係活動等を通して好ましい人間関係がある。身体面では体重、胸囲が

全国平均を上回っており、背筋力、持久力はすぐれている。スポーツ面ではボール投げが全国平均を上回っている。短所としては、主体的学習態度が身につけていない、受動的で発表の声が小さい。多

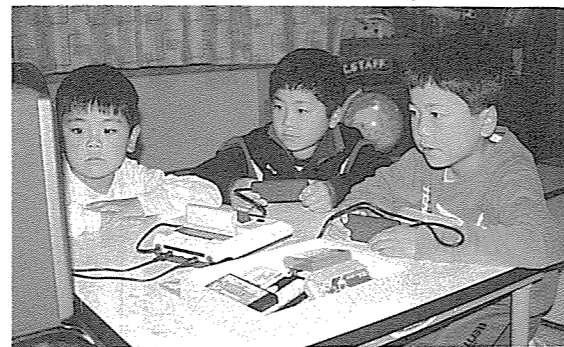
様な見方、考え方や学習に対する持久力や困難な学習課題に立ち向かう態度にかけている。課題をもって学習したり、論理的思考と自分の言葉で表現したりすることが苦手。物を大切にしたりきちんとして始末ができない。筋力、柔軟性は劣っていることが挙げられます。

今後の方向としては、これらの特性を把握し、なおかつ個性を生かしながら、めあてを持たせて指導する。「読み、書き、計算」などの基礎的、基本的事項の定着を図る必要がある。体験的な学習や問題解決的な学習を充実して「思考力、判断力、表現力、創造力」を育てたい。物を大切にしたり、きちんと始末できる子にしたい。瞬発力、機敏性、柔軟性の強化増加が望まれる。

そういった指導が必要かと考えています。

学校週五日制にともない休みとなる土曜日に自然体験、社会体験、生活体験をさせることで「より上手に」「より能率的に」「よりきれいに」といった工夫や「新しい発見」につながり易く、また年齢の違う仲間との遊びを通して「集団生活の上下関係」を身につけさせるなど町内児童生徒の指導の重点を解決するうえで密接な関係があります。

また、こうした体験活動を親やお年寄りがボランティアで指導するということは自分の家の子や孫から、よその家の子や孫に目がひろがることになり、子どもたちへのかかわり方、家庭での教育の在り方等が話題となり、地域の教育力の向上につながると考えられます。特に新地町は火力発電所の建設、それにもなる諸企業の進出から人口の流入が期待され、これを積極的に受け入れることが大切であります。そうした時に、生徒指導等で問題を多発させないために、一番大切な「地域の教育力」であると思いま



▲ 宿題を終えて(?)テレビゲーム……

さて、町内の子どもたちに休みとなる土曜日をどう過ごしたいと思っているかというアンケートを行ったところ①友達と遊びたい②家族と遊びたい③家族と旅行をしたいが上位を占め、続いて④部活動⑤勉強⑥寝る⑦散歩⑧買い物⑨部屋の掃除⑩家でのんびりするという回答でした。

それでは子どもたちのいろいろな体験活動は具体的にどんなものがあるか、それは当地域の特性を考慮し、父母の方々が主体的に考えることが最もよいことだと考えられます。いささか学校や他人に依



高野逸夫さん(新林)
昭和17年生れ、50歳。
小高町出身。駒ヶ嶺小学校教頭。

存する傾向にあった子どもの教育を「親の責任で考え直す絶好のチャンス」だからです。

二十世紀を生き生きと活動する子どもに育てることも大切です。例えば、目標に向かって頑張れる子どもを育てる家庭とは、次のような家庭です。温かく力強い家庭、「〇〇ちゃんを産んでよかった」といえるお母さん、「働いている気概」を伝えるお父さん。そして、

- ・子どもにどんな人になってほしいか親の希望をどんどん話す。
- ・働くことの苦勞と喜びを子どもの前で話す。
- ・職業の紹介をどんどんする。
- ・子どもの長所や短所について話し合う。

・職業希望実現のためにどんな勉強をしなければならぬかを話し合う。

・家事分担をする。

こんなことなどが大切ではないかと考えています。

最後に、もう一度「学校週五日制は、教育を見直す絶好のチャンスです。」親が自分の責任で考えることによって、教育を親の責任として考え直してください。休みとなる土曜日を子どもたちにどう過ごさせたいか親自身で考えてください。学校は、いつでも相談のります。しかし、学校にまかせますとは絶対に言わないでください。

貴重な時間をどうもありがとうございます。ありがとうございました。

高校教育から見た家庭と地域との関わりについて

はたけまき いちろう
岡山 熙一郎さん

学校週五日制が打ち出された最も大きな理由は、学校教育に偏ってしまっている弊害が様々に指摘されている現在の子どもたちの教育に関して、

学校・家庭・地域社会がそれぞれ持っている教育の力をお互いに発揮し合い補い合うことにより、全体的に教育の力を高め、子どもたちがより

良く生きるための力(学力)と豊かな人間性を身に付けさせたいと言っているところにあります。「学力」というと、これまでの知識や技能の量の面であらえていたが、新しい学力観に立てば、自ら学ぼうとする姿勢、社会の変化に対応して自分で判断して行動するために必要な資質や能力を指すこととなります。

ところで、高校教育の場でこれらのことを考えると、幾つかの特徴的な問題があります。まず、高校には選抜試験や学区制等の関係から、個々の学校に大きな違いがあります。具体的に申しますと、名門校、普通校、職業校、進学校、スポーツの盛んな学校、男女共学・別学校等、様々な特徴があります。そのこと自体は止むを得ないことだと考えます。問題は、それに関する世間の評判や人々の物差しが偏っていることなのです。あそこは勉強があまり得意ではない生徒が入る学校だから駄目な学校なのだ。このような言い方がまかり通って、そのことで生徒が非常に傷ついているのです。

二つ目は、生徒が家庭を見守る目が小中学生とは違うこと

にあって、周囲に対する批判的な目を持ちます。しかも自立を強く望む時期でもありますから、一番身近にいる家庭を最も敵しい目で見つめることになりがちです。その結果、嫌な面ばかりが目だったり、家庭が自分を拘束する煩わしい存在として認識されたりがちです。



▲ 他から通う子も地域の子として、温かい目を

● 余暇の過ごし方に関するアンケート調査結果 (回答は重複回答)

現 状 (%)	余暇の過ごし方	(%) 週5日制実施後
2	(ア) ボランティア活動に参加する	5
0	(イ) 地域の行事等に参加する	1
9	(ウ) 家族と一緒に過ごす	8
13	(エ) 家の手伝いをする	12
10	(オ) アルバイトをする	37
14	(カ) 趣味に費やす	24
3	(キ) 塾や稽古事に通う	3
6	(ク) 小説等を読む	8
10	(ケ) 部活動に参加する	8
4	(コ) 予習・復習等の勉強をする	8
54	(サ) 友達と遊ぶ	58
14	(シ) 友達と電話で話す	12
91	(ス) テレビを見たり、音楽を聴く	70
38	(セ) 雑誌やマンガを見る	24
27	(ソ) 何もせずにボンヤリしている	18
3	(タ) その他	4

このような状況では家庭の教育力も相対的に低下せざるを得ない訳です。

更に、高校と地域社会との関係を考えると複雑な事情がからんできます。生徒が居住する地域は広範囲で、しかも学校の所在地から遠く離れていることが多いのです。また、学校周辺の地域というところを方をしたとしても、そこに住む人々には地元の子どもと他所から通ってくる子どもとを分けて考える傾向があり、その一方で、同じ地域内に住む子どもに対しても、通う学校によって区別をしがちです。このように地域との関係が複雑で一元的にとらえることが難しいという事情があるのです。

に、ものの見方や興味・関心についても自分なりのものを持つてつけつつあり、自分はこの人間なのだという自覚をもっています。それは多分に一人よがりどころがあつて、学校や家庭、地域の人々からの働きかけに対しても容易には応じようとする傾向があります。

このように並べてみますと、学校そのものが置かれている状況、家庭と子どもとの関係、高校生と地域との関わり、複雑な、生徒の年令的なもの等、高校生を学校と家庭と地域社会の三者で見守り育てていく上での大きな問題が横たわっていると言えそうです。

そうは言いつても、学校週五日制は間もなく実施されますので、何とか私たちの力で子どもたちを導いていかな

ければならない訳です。そこで、具体的な資料をお示ししたいと思つています。新地高校生二百六十二名を対象にアンケート調査をしました。(六頁の表参照) 現在、土・日曜日をどのように過ごしているか、また、九月から週一回土曜日が休みになったらどう過ごすかということの調査結果で、その要約は概ね次のようになります。

・一人でテレビ、雑誌、マンガを見たり、特定の友達と遊んだり話(電話を含む)をするといった、限られた人間関係の中で「新しい学力」とは縁遠い時間を過ごす者が非常に多い。

・ボランティア活動や地域の行事等への参加によって、世界を広げ、心と活動の場の拡大を求めるケースは極端に少ない。

以上の傾向は学校週五日制の実施以降も基本的には変わらないことが予想される。

・学校週五日制に伴って大きな変化が予想されるものには、趣味(内容は不詳)に費やす時間の増加と、アルバイトをする生徒の急増がある。

上げたいと思つています。

一つは、子どもたちを新しい見方で見守って欲しいということですが、一人一人の子どもの個性があり発達速度の違いがあります。このことを念頭に置いて子どもたちを指導・助言し、援助していただきたい。

二つ目は、家庭を子どもたちの心の拠り所にしていただきたい。人は安らげる場所と心を通いあふれば、安心して行動し、自信と勇気をもって外に立ち向かうことが出来るものなのです。家庭にあつては優しさや厳しさを併せもった家庭の愛情で子どもたちを育てていただきたい。

三つ目に、地域で生活する子どもたちを地域ぐるみで見守り育てていただきたい。よその町から通ってくる生徒であれ、異なる高校に通う生徒であれ、その地域で学び、その地域で生活する子どもに対しては、地域での生活を共有する者として、地域ぐるみで声をかけ、育てていただきたい。

四つ目に、最も肝心なこととして、親の生き方を通して子どもを育てて欲しいということをお願いいたします。子ども

は親を見て育ちます。親を敬愛するにせよ反発するにせよ、それは親の生き方に無関心ではいられないことの現れです。ただし、ある程度の批判力をもつ高校生には言葉だけのお説教はむしろ逆効果です。人自身から趣味に至るまで、親自身に問われていることに思いを致していただきたい。

最後に、アルバイトについてのお話です。高校生がアルバイトを通して社会参加と勤労を体験することはそれなりに意義のあることです。ただし、それは学生生活という大事な根があつてのことです。勉強嫌いがアルバイトを始めたら大変心配があります。アルバイトには学業生活を損なう様な危険性も存在しています。家庭と地域、そして事業者の皆さんには、その目的と内容、学業生活への影響等を十分考慮した指導と助言をお願いいたします。

以上まとまりのないお話になりましたが、学校週五日制に対しては、皆さんと力を合わせて子どもたちの健全な成長を援助・指導していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



岡山 熙一郎さん(新地)
昭和20年生れ、46歳。
浪江町出身。新地高校教頭。

最後に皆さんへのお話を踏まえて、

最後に皆さんへのお話を踏まえて、

最後に皆さんへのお話を踏まえて、

学校・家庭・地域が一体となって 問題解決に取り組もう

四人の方にそれぞれの立場から、問題提起がされた後、川畑満駒ヶ嶺小学校長の司会により参加者全員で活発な意見交換がなされました。主な意見・質問の内容は次のとおりです。

▼今、家庭教育が崩壊しているのではないか。子どものしつけ面をしっかりとしなければならぬ。
▼当面月一回実施だが、将来は月二回、更に完全週休になるのか。時期や概要が分かっているならば教えてほしい。
▼余暇の時間が減ってくるが、町として子どもたちが自由に

遊べる運動公園や図書館の整備を図ってほしい。
▼高校生の中に髪をタレントのように半分茶色に染めている子がいる。学校では何を教えているのか。
▼高校生の髪の問題は、学校を責める前に家庭の問題ではないか。親がわが子にしっかりと対応すべきだ。
▼ゆとりある教育を目指すといっても、現実はまだまだ学力社会。塾通いにますます拍車がかかる一方、ゲームセンター・パチンコにいく子どもが増えてくるのではないか。まず、社会の受け皿の整備が必要だ。

▼知識と教養のバランスのとれた生活をしていくためにも、親子のふれあいが大切。もっと早くから週五日制に踏み切るべきだったと思う。
参加者からの質問に対して、助言者として出席した荒町長から「公園については、鹿狼山や埴浜地区に整備中であり、図書館は町総合計画に基づき建築を予定している。町民グラウンドは、拡張のため今年度より用地買収に入りたい」と回答。更に、昨年、県市町村職員海外派遣調査研究団の団長としてヨーロッパの視察研修にふれ、「ヨーロッパでは、土曜日は家族で過ごすため、商店街も農家も休み、開いていたのは日本のスーパーだけだった。週五日制は日本も世界各国並に一歩でも近づいていくということでしょうね」とアドバイスをおくりました。高田久夫相双教育事

務所次長は、「いつの時点から完全週休になるかは法律改正を伴うので、今後についてはまだ未定」と回答。菅野八重子教育相談員が、電話相談で塾通いの悩みを訴えるケースを例に「自ら塾に通いたいという意欲的な子どもはどんどん通わせたい方がいい。伸ばすのは大いに結構だ。しかし、一方では、泣いて訴えてくる子がいることを忘れてないでほしい」と個性を大切にしたい家庭教育をうながしました。

町教育委員会では、週五日制にもなると各小中学校に『指導員』を配置し、土曜日に誰もいない家庭や障害を持つ子どもたちに対応する事としています。学校週五日制は、学校から子どもを返すことで、家庭や地域の本来のあるべき教育力を回復させるねらいがあります。今後実施に向けて、学校、家庭、地域社会がいままで以上に連携を深め、一体となつて問題解決に取り組む必要があるのではないのでしょうか。



▲ こんな余暇を楽しんでいますか、お父さん…

▼寄付ありがとうございます
●教育振興基金へ
（南荒工務店 荒貞夫社長）より 三十万円
●新地町建設業協会より 十万円
●故永井シマさんのご遺志により永井和男さん（富倉）より 十万円
●故八巻幸一さんのご遺志により八巻定男さん（菅谷）より 十万円
●図書への寄贈
●横山カネさん、小賀坂正廣さん（中里）より故横山清一郎さんの蔵書二百三十五冊
●駒ヶ嶺・浜保育所の園児の図書購入代として
●目黒文夫さん（富倉）より 図書券で五万円
●トリムマラソンの時
●イノテック（株）より
●ゼッケン三百枚、楯四コ

●社会福祉協議会へ
●故目黒エナイさんのご遺志により目黒清文さん（富倉）より 十万円
▲ 荒町長に寄付を手渡す角田建設業協会長

消防操法競技大会

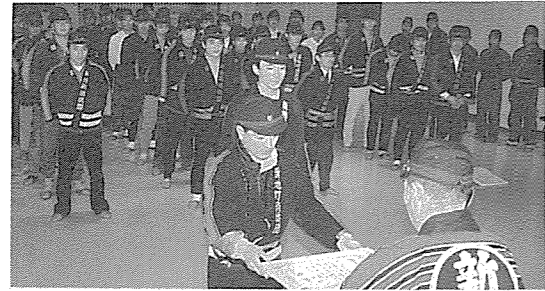
訓練の成果を競う

町消防団消防操法競技大会が六月二十一日、農村環境改善センター前で小型ポンプ操作の部五チーム、自動車ポンプ操法の部三チームが参加し行われました。この日は、豪雨に見舞われましたが本番さながらにきびきびとした動きでポンプ操法を行っていました。

地方大会に出場します。優勝チームは次のとおり。
●小型ポンプ操法の部 第三分団十部（木崎）
●自動車ポンプ操法の部 第一分団一部（菅谷）
また、五月二十七日に行われた福島県下消防大会の席上では、各種表彰が行われ、次の方が受賞されました。おめでとうございます。



▲ 豪雨の中、きびきびと行動する消防団員たち



▲ 農村環境改善センターで表彰式

黒磯市防人クラブと交歓会

町婦人消防隊と栃木県黒磯市婦人防火クラブ連絡協議会の交歓会が六月六日、農村環境改善センターで開かれ、主婦の立場から火の守りに力を注ぐことを誓い合いました。これは、黒磯市在住の町出身者の働きかけで実現したもので、交歓会では、それぞれの活動状況などについて発表。当町の昨年一年間の火災被害額が九千円との話しに驚きの声があがっていました。お昼には、食事をしながら和気あい



▲ 防火について話し合った交歓会

あいとした雰囲気の中で、お互いに交流を深めていました。

言葉の履歴書

「あの人は地獄耳だから」というとき、一度聞いたら忘れない記憶力抜群の人、またはうわさなどを、すぐ聞き込む早耳の人を意味します。「地獄覚え」といえば、人が忘れてほしいと思っていることを、いつまでも記憶している人のことです。ところで、これらの言葉には、なぜ「地獄」がついているのでしょうか。仏教語の「地獄」は、現世で悪いことをした人間が、死後地下の閻魔の庁で大王の審判を受け、獄卒の鬼から絶えず責苦を与えられる場所です。罪人を煮る「地獄の釜の蓋もあく」休日は、正月十六日と盆の七月十六日だけで、あとは刑罰から逃げられません。つまり「地獄」は、一度入ったら出てこれないという意味があるのです。「地獄」のつく言葉は、このほかにもいくつかあります。「地獄壺」は、入れたら最後まで壊さないと取り出せない貯金箱。二つの木材を接合するとき、一度打ち込んだら抜けなくなる突起と穴は「地獄はぞ」。つまり「地獄耳」は、一度耳に入つた言葉は忘れないということです。

トピックス

トピックスは、町内の話題をカメラリポートするコーナーです。みなさんのまわりにある話題を、企画振興課(☎62-2111)までお寄せください。



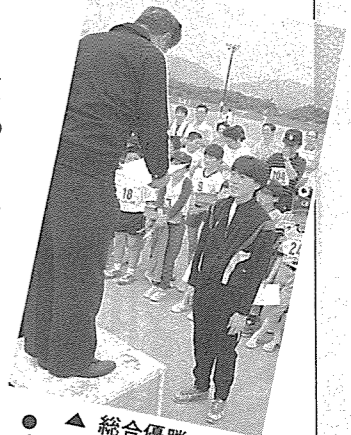
初のトリムマラソン 107人が参加

新地町初のトリムマラソンが6月14日、町民グラウンドで行われ、ベビーカーに乗った2才のお子さんから80才のおじいさんまで107人が参加し



3キロのコースをマイペースで走りました。トリムマラソンとは、あらかじめ申告したゴールタイムと実際にゴールしたタイムとの差が少ない人が上位にランクされる競技。自分のペースで走れるだけに老若男女を問わず気軽に楽しめるスポーツとして人気を集めています。

総合優勝は遠藤和孝さん(岡)で申告タイムとの差はわずか1秒でした。成績は次のとおり。小学生の部1位 菊地敬市(4秒差)、2位 加藤紋子(5秒差)、3位 菊池三喜子(12秒差)



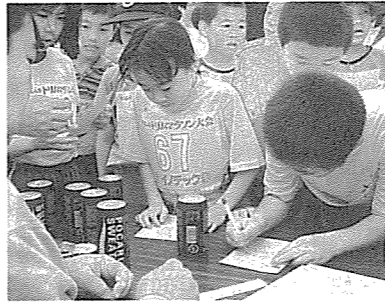
▲総合優勝の遠藤和孝さん

●中学・一般の部1位 遠藤和孝(1秒差)、2位 角善行(2秒差)、3位 滝島忠男(3秒差)

「トップゴール賞」

●小学生男子 鈴木健志(13分3秒)、●小学生女子 鈴木香織(13分44秒)、●中学生・一般男子 菅原雅春(9分48秒)、●中学生一般女子 目黒梢(12分55秒)

「ファミリー賞」 星光広さん一家
「シルバー賞」 早川正義



▶ゴール後、自分のタイムを申告する選手たち



▶親子三人でゴールへ、これがトリムマラソンの良さ。

各地区運動会、始まる



例年、地域の親睦と融和を図るため各地区運動会が盛んに行われるようになってきました。各地区の運動会の先頭を切って富倉地区の運動会が6月7日、町民グラウンドで開かれました。当日は曇り空で時おり雨がぱらつくあいにくの天気でしたが、参加した皆さんは、元気づけに競技をしました。グラウンドでは、ソフトボール、宝拾い、ツナ引き、借り物競争やデカパン競争、ビン釣り競争といったユニークな競技が催され、家族連れなどで賑わいを見せていました。



▲菅野良孝さんのハウスでイチゴ狩りを楽しむ新地保育所の子どもたち(%)

4保育所

楽しいイチゴ狩り

町内4保育所の園児たちが、このほどイチゴ狩りを楽しみました。イチゴハウスの前で保母さんから一人ひとりにバックが渡され、元気よくハウスの中に駆け込んだ子どもたちは、大きくて真っ赤なイチゴに「大きいな」「甘くておいしいわ」と歓声をあげ、口の周りを真っ赤にしながら味わっていました。

今年も、イチゴハウスを提供していただいた、菅野良孝さん(藤崎)、寺島春樹さん(釣師)、佐藤茂樹さん(大山田)、ありがとうございました。

小学5～6年生が交流

山鹿少年教室

鹿狼山少年教室(生徒数41人)が6月20日、農村環境改善センターで開かれました。普段はあまり交流がない福田小、新地小、駒ヶ嶺小学校の5～6年生たちが一緒になってターゲットゴルフやドッジボールなどを楽しみました。今後公民館では、子どもたちに、地域社会の一員としての自覚や豊かな心をはぐくんでもらうため、8月には、町内でキャンプを行い、はんごう炊飯やキャンプファイヤー等を予定しています。



農業改良推進員協議会を開催



町農業改良推進員協議会(会長竹沢正美・会員41人)の総会が6月10日、農村環境改善センターで開かれました。

議事では4年度の事業計画や予算が審議され、各種情報資料の配布啓蒙、農村婦人講座への参加、料理講習会、県推進員大会への参加等を決めました。

総会終了後、相馬農業改良普及所の太田忠宏さんから稲作管理の講習会が行われ、出席した会員は真剣に聞き入っていました。



お変わりありませんか

保健婦の健康メモ

戦後、わが国は社会、経済的にも大きな発展を遂げ、いまでは、西欧型の先進国型・都市型文化をもつ国になりました。この結果、豊かで、自由で、平和な生活を楽しんでいます。その反面、子どもにも成人病、あるいは成人病予備軍（これらを総括して小児成人病と呼んでいる）といわれるものが急速に増加してきました。

このような状況の中で、町では昨年从小児成人病予防健診を小学四年生と中学一年生を対象に「表一」のような健診内容で実施しています。昨年、実施した結果を全国

成人病

今、子どもたちが危ない!!

③肥満者とコレステロール値が高い子どもは、動脈硬化指数が高い。

※動脈硬化指数 = $\frac{\text{総コレステロール} - \text{HDLコレステロール}}{\text{HDLコレステロール}}$
これが高いと動脈硬化になりやすい。



「表一」

健診内容	判定
① 身長、体重、肥満度	(学校健康診査の情報を用いて判定)
② 血圧	
③ 尿(蛋白、糖、潜血)	(学校健康診査の情報を用いて判定)
④ 心電図(中学一年生は、学校健康診査の情報を用いて判定)	
⑤ 脂質(総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール)	
⑥ 貧血(赤血球、血色素、血球容積)	
⑦ 血糖(尿検査で異常のある者のみ実施)	

も、動脈硬化を促進する因子で、このまま放っておくと、この子どもたちが成人した時に病気がかからず、元気で健康に過ごせるかどうか不安な状態です。しかし、この子どもたちも今から積極的に日常生活の改善、なかでも食習慣の改善に家族ぐるみで取り組む、適度な運動を続けることによって、将来の発症を予防することができます。日常生活、食習慣をきちんと見直し、今から成人病予防にしっかりと取り組んでほしいと思います。

剣道着に身をつつみ勇ましく登場するのは、週に二回火曜日と土曜日にスポーツ少年団の指導を兼ねて柔剣道場で剣道の稽古をしているという早川正義さん。町内で剣道の指導者が集まって作っている剣友会の会長を務めています。



早川正義さん (80歳・岡)

健康の秘訣を訪ねると「心配ごとをしないで、何事にも

月十四日に行われたトリムマラソンにも出場し、三キロのコースを二十四分六秒で走り、参加者の中では最高齢でしたが、軽快な走りを見せてくれました。



林 誠さん (22歳・上真戸)



何事にも目標を持って

言いながら快く取材に応じてくれました。林さんの自己分析によると、何事にも慎重派で、それがかえって裏目に出ることがよく

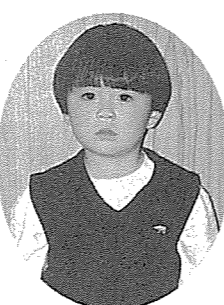
味があったので毎日がとても充実しています。学生の頃は遊んでばかりで、今のほうがよく勉強していると思います。」と学生時代を振り返る。

趣味はツーリングで、ヤマハTZR250に乗っています。バイクに乗っているときは、何もかも忘れることができ、ストレス解消には一番のこと。林さんに今後の目標を訪ねると「目標ですか。いっぱいありますが、とりあえずは、国家試験に受かること、バイクは、中型の免許しか持っていないので大型免許を取って全国各地に行くことですね。」と話してくれました。

わが家のアイドル
みなさんのお子さんの写真を
お寄せください。
お子さんの住所・氏名・年齢・
電話番号を忘れずに。



渡辺 茜(あかねちゃん) (3才4ヶ月・鉄炮町)



荒 祐太郎(ゆうたろうくん) (3才2ヶ月・中島)

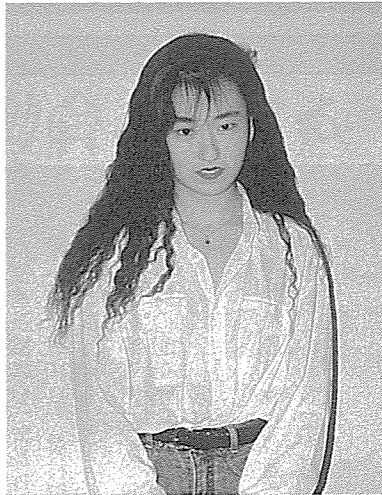


竹澤 郁恵(いくえちゃん) (3才3ヶ月・大戸浜)

☆お勤めはどちらですか。
○日立ブランド(株)に勤務しています。
☆休日は何をしますか。
○友達とショッピングへ行ったり、映画を見たりしています。
☆趣味はなんですか。
○ドライブと映画を見ることです。それと去年からスキーを始めたので今年もつと上手になりたいですね。
☆飯館村との交流会で北海道へ行って来たそうですが。

○いろいろな人と交流ができて良かったです。今度はすてきな彼女と一緒にいきたいですね。
☆自分の性格をどう思いますか。
○初めて会う人からは、きつい感じに見られるのですが、本当は、そんなことないですよ。(笑)
☆理想の男性のタイプは。
○一見冷たそうな人で私にだけやさしくしてくれる人。☆芸能人では。
○東 幹久さんや織田裕二さんですね。
☆この町をどう思いますか。
○このままでよいと思います。(ありがとうございました。)

さわやかふれあいトーク♡



小泉尚子(なほこ)さん(新地町)
♡S47.2.17生・血液型 O型
水瓶座

父遠藤新について

遠藤 陶さん



世界的な建築家フランク・ロイド・ライトに師事、自由学園、甲子園ホテルなどの設計で知られる新地町出身の建築家・遠藤新（一八八九年～一九五一年）の回顧展が、五月三十一日から六月七日まで、農村環境改善センターで開かれ、町内外から多くの人が訪れました。初日の三十一日には、遠藤新生誕百年記念事業委員会を代表して、新氏の三男で、東京で建築事務所を営む遠藤陶さん（六二歳）から新地町に新氏のデザインした家具や自筆の掛け軸、パネルなど約八十点が寄贈されました。今回は、遠藤陶さんの記念講演「父遠藤新について」――抜粋――をご紹介します。

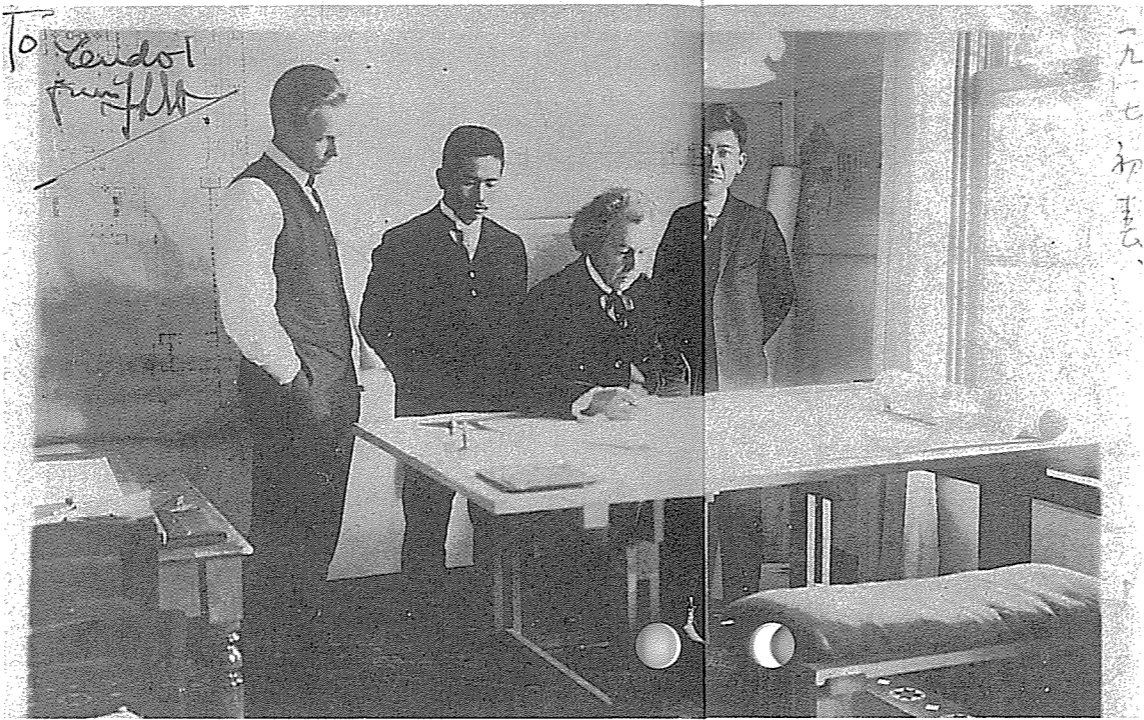
遠藤新は、明治二十二年六月一日に福島県相馬郡福田村福田字大町に生まれました。つまり今の新平さんの家です。子供の頃から勉強ができたらしく、母のかしこが喜ぶ顔を

みたくて、勉強にはげんだそうです。中学を出るときに、頭が良いというので、新地郵便局の小泉うたろうさんがお金を出して下さり、二高に通うことになりました。二高の入試で結果を見にいった新は、発表の掲示板に自分の名前が出ていないのでびっくりしたようです。自信はあったのに名前がないんです。新は十番目位から下を何度も探していたんです。そしてよもやと思ひ、十番目から上を見てもないんで落ちたのかと

思った時、一番トップに自分の名前を見つけたそうです。仙台に下宿して、二高に通ったのですが、ある時先生が、「このクラスには入試の時、全科目でトップだった者がいる」と言われて、それが自分であることを知ったそうです。新がたまたまこの町で出来が良かったというだけでなく、あの仙台二高の試験でトップだったという事は、新地が明治の初めに、日本全国に先駆けて一番に観海堂という小学校を作ったことと無縁ではないでしょう。

師になり、再び英語教師に復帰された頃の円熟期に先生に廻り会えた事も幸いでした。どの課題も出来、画もうまく、文も達者で多分に哲学的だった新は、そのどれかを選ぶのではなく、時あたかも日本という国の黎明期にあたって、何か自分の力を総合的に発揮できる新しい分野が無いかと考えたときに、これは私の想像ですが、晩翠先生が「建築があるじゃないか」と言われたのか、又は先生のお話の中から「建築」という分野を自ら探して来たのか、いづれにしてもその影響は大きかったと思われまふ。二高卒業後も新が亡くなるまで先生との交流は続いていましたし、又、先生の書かれた本の中に

「私の担任した級としない級とをこっちゃにして、



▲ フランク・ロイド・ライトと共に (右より三人目)

ただ、二高出身者としての諸秀才を思い出したい」として十人を上げ、その最後に

「建築界の大家―蓬頭乱髪で一見ルンペン的な容子をしていた遠藤新君 (明治41～44二部甲組卒) がある」

と書いています。二高を出て、東京帝大の建築学科の入学を志し、初めて東京の土を踏んだ新が、上野の駅前で稲荷寿司を食べたと

ものがあるとは知らなかった」と言った言葉から、当時の田舎と東京の落差を感じとれます。

東京帝大もトップで入った新は、当時すでに官僚化したつあった大学にだんだん失望し、次第にキリスト教の影響を受けるようになりますが、新にとってキリスト教は信仰や祈りの対象としてよりも、思想、哲学としてとらえていたようです。富士見町教会で洗礼を受け、ここで自由学園の羽仁吉一・もと子両先生との出会いがありました。一方、新は雑誌で知ったフランク・

ロイド・ライトに心を惹かれて行きます。出来れば、大学卒業後はライトの所で建築を学びたいとまで思うようになります。

天才建築家 ライトと出会う

大学を出る頃、ライトの帝国ホテル以前の帝国ホテルを仲間と見学に行った新は、支配人の林愛作さんの目にとまりました。「ただ者ではない」と感じた林さんは、新一冊の英文の本を渡し「読んでみる」と言ったそうです。新は本を受け取ると一晩でそれを読破し、更に翻訳して翌日林さんのもとに届けた事で、信頼は更に厚いものとなりました。

大学を六番で卒業した新は、当時完成した東京ステーション、現在の東京駅を痛烈に批判します。国を挙げての大事業であり、建築家の大御所である辰野先生の設計を失敗作と言ひ、返す刀で官僚を批判しています。この失敗作について「これは何に原因するか、建築家の責か、あらず、建築家以外の国民の罪か、あらず

く、原因は実に国民全体と建築との距離に存するのである」と書いています。これはこの両者の間を取り持つはずの官僚が、その責を果たすどころか、それぞれの思惑や利権等に走り、本来あるべき姿をねじ曲げていることを批判しているのです。当時は官僚と結びつかなければまともな設計が無かった時代であり、建築界の第一人者を批判した事は、自ら建築家としての生きてゆく芽をふみにじるような大事業でしたから、かなり勇氣のある行動でした。新はこの一文を讀賣新聞に載せ、その原稿料を二年の兵役を一年志願にする為に使いました。

この頃、先に述べた林さんは帝国ホテルの新館の設計者を探すと世界中を廻り、アメリカでフランク・ロイド・ライトを見つけ、ホテルの設計を依頼する人はこの人しかいないと心に決め、日本に連れて来ます。そして、アシスタントが欲しいというライトの要求に、迷わず新を紹介したのです。この時の事を、新は「ライト自叙伝を讀む」の中でこう書いています。

「げにも天才は不思議、

それが現在生きていることは更に不思議、そしてその天才と親しみに浸り、思慕の情を傾ける立場に居ることは更に身にとつての不思議。

思い返せば、かつて自分が学校を出る頃アメリカに行こうと考え、行けば雑誌で見たライトさんにと志しては見たものの世界戦争（第一次）のドサクサに行きそびれ、一年志願の兵隊にとられたその間に帝国ホテル設計の為め向こうから来る仕合わせ、除隊して一ヶ月余り、自分の目前には上陸したばかりのライトさんがさっそうと立って居た」

と記しています。これは大正六年、二十八才の時のことで、その後二年間アメリカに渡り、帝国ホテルの設計に従事しました。出掛けに作つたなげなしの一張羅の背広を盗まれて、羽織袴でアメリカに行ったこと、アメリカの町ではスカートをはいた髭面の異邦人というので、あれは男か女か賭けをするものかいたとか、下駄がちびるので棒切れを釘

建築創作所 を設立

で打ち付けて履いたとか、ライトの事務所、ウイスコンシンのタリアセンに着いた時のハガキには、無事「足りやせん」に着いたと書いてあった事、トウモロコシが好物で一度に三十本食べたとか(本人は十三本しか食べていないと言っていました)が、エピソードには事欠きません。

又、ライトは図面をひく時には、しばらく白紙の前で瞑想し、一度書き出すとよみなく一気に書き上げるのです。新は、どこかに間違いがないかと随分探したそうですが、一つとして間違えることはなかったそうです。新はアメリカで、一枚の図面は必ずその日のうちに仕上げる事を自分に課したそうです。あの複雑なホテルの図面を、一日で仕上げる事は想像を絶する事で、徹夜になることもしばしばだったそうです。こんな新の姿を、ライトは忠臣蔵の四十七士になぞられ、四十八番目の士と言ったそうです。ライトにすすめられて髭を伸ばしたのもこの頃で、無口でどちらかというところ、無口でどろどろとしたのが、突然のように話し出したのもこの頃の事だったようです。

大正八年に帝国ホテルが着工し、九年に都と結婚しました。それから二年後、まだホテルの工事中に、先に話した羽仁夫妻から自由学園の設計の依頼を受けた新は、迷うことなくライトを紹介しました。

羽仁夫妻は余りにも予算がなかったで、この天才に設計を頼むことをためらった節がありました。当時日本の官僚的対応に苦慮していたライトは、真の民主主義を育てようとする自由学園の理想に大いに共鳴し、設計を快く承諾しました。こうして出来上がったのが、現在も目白の一角に建つ自由学園・明日館です。ライトはこの設計が出来た時、図面に自分の署名をし、新にも署名するよう促しました。新は固辞しましたが、結局名前を書き入れました。これはライトの設計の中で唯一のものであり、ライトと新が如何に大きな尊敬と信頼とで結ばれていたかを物語るエピソードです。大正十一年に遠藤新建築創作所を創設しました



▲ ありし日の遠藤 新

が、自由学園は後に大きく発展して、現在の東京東久留米市にキャンパスを移し、その設計は全部新がなしました。その後、帝国ホテルの林愛作さんは、ホテル新築の費用が大幅にオーバーした事からその責任を取る形で退職しますが、ホテル経営の夢を捨て切れず、兵庫県に甲子園ホテルを造ります。これも設計は新が行いました。このホテルは太平洋戦争後米軍に接収されましたが、現在は武庫川学園が使っています。

また、新は数々の語録も残しています。

生活に徹した

設計哲学

その中に「建築は哲学する」という言葉があります。「建築は哲学する」実に含蓄のあることばですが、当時はなかなか意味が分かりませんでした。いや今日に至るまで、その意味を考え続けてきたと言ってもよいと思います。

ここで大事なことは、哲学が、いわゆる論理的な哲学論ではなく、「哲学する」という動詞であることだと思えます。では新がどう哲学したのかを、その文章「卓と椅子とに因む」の中から一部を読んでみます。

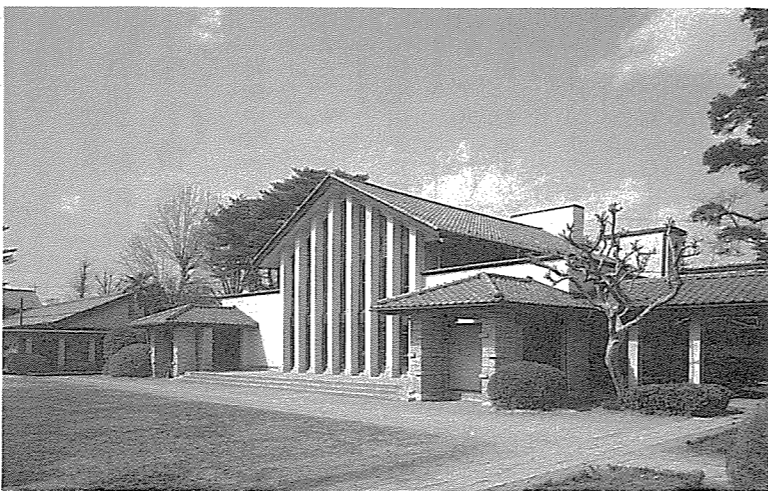
人間はまだまだ尊いのです。人生に希望をかけて下さい。知識の機械的な宿命ではなしに、外に、英知が齎す光明の天地が許されてあることを考えることです。

これまでの捕われた標準でなしに、新に正しい標準が正しい評価の道を教えてくれます。

あまりに余計に、人間は研究に偏する、詮議立てが過ぎる、インテレクト(知識)を過重視する、そしてインスタンク(本能)を過軽視する。いけません。

試みに手を見る、手首から掌、掌から指、指から爪、何というしかけだ、何という微妙さだ、何というはたらきだ、何という美だ、そしてそれがまた何という自然さだ、更に、それが、何という単純さだ。

脳髓と一緒に、この人間の文明を築いた功労者、その勤功の複雑、巧妙、壮大のに比べて何という単純さだ。これほどに建築ができる

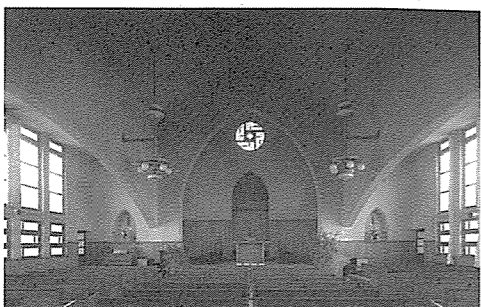


▲ 同上 体操館内部

「自由学園女子部」

*生活則教育と云う、羽仁夫妻の哲学を、建築(環境)則教育と擬られて構想が練られた女子部。中央の中庭をはさんで両翼に教室。南側に一段下がって体操館。両サイドに教師室と医務室。前面に大芝生。西側には一段高く講堂が構え、何よりも食堂を中央奥に配したことが、学園の精神を象徴している。建物の中、か建築なら、外も建築」と云うこの全体構成の美しさは、まさに最高傑作と云える。

(東京都・東久留米 1934年(昭和9年))



『目白ヶ丘教会』

*この見るからに優しい教会は、最後の作品となった。新はここで葬儀を上げ、三年間、納骨堂の客となった。(東京都・目白 1950年(昭和25年))

たらとひたすら感嘆する。言いかえれば、偶然の集合が趣味などで許されるのでなしに、一つの生命の人格的な統一だと考えること。

有機的な部分だと考えること。

建築に合せてゆくのになしに、建築が伸びて育つて来るのだと見るといふこと。

要は、建築家はその建築の成長の方向を理解することだ。それが出来れば、細かいことは、次から次と、建築自身が建築家に暗示してくれる、その暗示を敏く、そして素直に受ければよいのだ。

この点で建築は教育と同じだ。

こうしようたつたためだ、こうさせようたつたためだ、こう育てたいたつたためだ、無理だ、出来ないことだ。やっつてはならぬことだ。

要するに子供は育つんだ、その育つ方向を正しく理解するのだ、それが出来たら(それが出来なければ教育家でない)子供が先生に何をすべきか

を覚えてくれる、先生は素直に子供に教わればよいのだ。

教育家に主観が許されない、そのように建築家にも主観が許されないのだ。教育家に表現がないごとく、そのごとく、建築家にも表現がないのだ。

気分と趣味とは教育の畑にも建築の畑にもないんだ、あつてはいけないのだ。趣味の建築、趣味の住宅なんというのは間違いだ。建築を知らない証拠だ。個性の間には普遍性をのぞかすのでなしに、普遍性の中に個性がにじむのだ。単なる熱心だけではすまない、趣味も気分も熱心であり得るのだ。しかしそれだけでは駄目だ、厳肅に裏づけされた熱心でなければならぬのだ。熱心は主観の所産で、厳肅は客観の要求だ。

詩的感興ではないのだ。畢竟、建築家はその知識から建築を生むのでないのだ。経験から家が帰納されるのでないのだ。実に、建築と共に成長するのだ。

7月
26日

一票は、君のことばだ！ 参議院議員選挙

投票は
午後6時まで

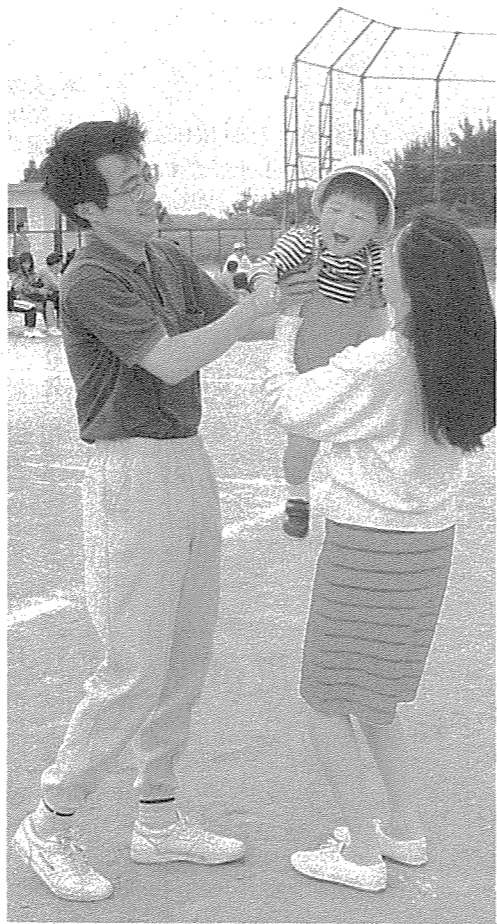
◆公示日 7月8日(水)
◆投票日 7月26日(日)

私たちの生活は、いたるところで政治と深くかかわっています。そして、私たちの生活を守り、あるいは向上させようというさまざまな意見や願いは、選挙で選ばれた代表者によって政治に反映されます。7月26日(日)は、参議院議員通常選挙の投票日、棄権しないで投票しましょう。選挙の主役はあくまで私たち国民です。

投票は2回

今回の参議院議員選挙は、「選挙区選挙」と「比例代表選挙」の2通りの方法で行われます。

投票は、まず候補者個人の



●投票時間
午前7時～午後6時
(投票開始時間にサイレンを鳴らします。)

投票できる方

昭和47年7月27日以前に生まれ、平成4年4月7日まで新地町に転入届を出した方です。

**都合のある方は
不在者投票を**

投票日当日、どうしても投票所に行けない事情のある方は、前もって不在者投票をすることが出来ます。

●期間 7月8日(公示日)～7月25日(投票日の前日)まで毎日
●時間 午前8時30分～午後5時まで
●場所 役場住民室
●持参するもの
入場券と印鑑

また、身体に重度の障害が

ある方は、郵便による在宅投票ができます。

**選挙人名簿を
よく確認ください**

有権者が投票するためには、選挙人名簿に登録されていることが必要です。

次の日程で今回の選挙に使用する選挙人名簿を縦覧しますのでお確かめください。

●期間 7月8日～9日
●時間 午前8時30分～午後5時
●場所 役場住民室

開票は改善センターで

また、開票は7月26日の午後7時から、農村環境改善センターで行います。

*選挙に関するお問い合わせは、新地町選挙管理委員会(☎2111)へ。

今月の納税等

固定資産税 第2期
国民健康保険税 第1期
国民年金 7月分
水道料 第7～第15
行政区

◆忘れないで！

こうして新は哲学する建築を考えてきましたが、「哲学する」ことはそれに留まらず、建築を通じて、日本の社会を哲学していました。特に教育問題に関しては、自分の学んだ東大を批判し、自由学園の羽仁夫妻の思想に共鳴し、戦後は、新制中学の設計に心を砕きました。

**戦後、学校設計に
情熱を注ぐ**

新制中学の設計に対する情熱と想念と行動には、鬼気せまる、実に凄まじいものがありました。

新は病身に鞭打ち、着物にモンペ、コートに母の襟巻きという出立ちで、雪の積もる秋田へ敷地を見にゆきました。新潟にも出かけました。「政府が俺に国鉄のフリーパスをくれないかな」と言っていました。新は日本中の学校を設計



町内外の関心を集めた回顧展

計する意気込みでいたのです。こんなこともありました。長野では、せっかくプランを作ったにもかかわらず、設計料の予算が取れないと言って断ってきました。新は憤り、私に電報を打ってこいと命じました。電文は「ナニヲクヨクヨカネイラス、クニノタメナラハラヘラス」でした。しかし、長野からは何の返事もありませんでした。一方、秋田と新潟の設計は順調に進みましたが、宮城から設計の依頼があったところで、ついに力尽きたのです。二度の入院の後、新は世を去り、生きて入ることのなかった、目白ヶ丘

教会で葬儀が行われました。亡くなる直前に友人に送った言葉は次のとおりでした。

ああ、
我まこと衰へたりや
あまた、び若人と語りて
いまだかつて我より若き
情熱に會わず、
一人だに會わず
ああ、
我まこと衰へたりや

今日から始まった遠藤新回顧展は、ただの昔を偲ぶよすがではなく、これを遠藤新復活展にしたいのです。

回顧展・見守る町

展示されていた遠藤新様のアルバムの中に、私の叔父及川今朝次郎(旧姓加藤)の写実がありました。生前父より、叔父と相中(現在の相馬高校)の同級生で親友だった新様のことをよく聞かされていたので、写真を見れば懐かしく思いました。ありがとうございます。

岡田力三さん(岡)

フランク・ロイド・ライトの弟子である遠藤新の作品を見ると平面プランや外観デザイン、家具のデザインやインテリアの装飾においてライトの影響がよくあらわれていると思います。このたびこのような回顧展を見学できたことについて関係者の方々に御礼を申し上げます。そしてまたこのような回顧展を開いてほしいと思います。

(田村郡小野町・男性23歳)

新地町へ、要望として。これだけの素晴らしい図面や写真を短期間の回顧展ではなく、いつまでも展示されているようにして欲しい。また、現存する図面をもとに模型をすべて造ること、もひとつの方法ではないでしょうか。そして、遠藤新記念館な

る建物をつくり新地町の文化のひとつに育てて欲しいと思います。(相馬市・男性29歳) ありがとうございます。名前だけは伺ってりましたが、建物をまとめてみたことはありませんでした。今でもモダンでとてもすてきに思います。もっと詳しく知りたいのですが、もう少し考えてから連絡したいと思います。

(原町市・女性45歳)

初めに、今日ここに来て良かったと思えました。私は建築を学んでいるものです。今は、建築から離れていますが、もう少し時間が過ぎたらまた建築をやってみようと思っています。その前に、一度自分の考えを整理する必要があります。その作業の一つがここに来たことです。大学の時に、フランク・ロイド・ライトを学び、もちろん遠藤さんの名前も知っていましたが、まさか新地町の出身者であるとは思っていませんでした。この発見は、私に勇気を与えてくれます。寄贈された家具、その他の資料、どうか大切に保管して下さい。(福島市・女性27歳)

女性消防団員を募集

防火指導や広報活動を

新地町では、消防団の活性化を図るため年間を通じ火災予防の広報や幼年消防隊の指導等ボランティア的な活動をする女性消防団員を新しく設置します。県内では、女性が団員に加わるのは県内3番目。相馬消防署新地分署では、

「この街を守るのはわたし達。」



女性消防団員

▲女性消防団員のPRポスター。新地町の女性団員にも同じ制服が貸与されます。

- 募集定員 10名
- 募集資格
 - ① 18才以上の健康な女性
 - ② 新地町に住所を有する方
 - ③ 最低2年以上勤務可能な方
- 受付期限 7月31日まで
- 受付場所 消防新地分署
- 面接 平成4年8月(応募者に後日連絡します)
- 採用 平成4年9月1日(辞令交付式9月3日)
- 業務内容 火災予防等消防広報活動(災害出動はありません)
- 待遇
 - ① 年額二万一千円の報酬を支給。
 - ② 業務に従事したときは二千円の出場手当を支給。
 - ③ 衣服は、制服・制帽、靴等貸与します。
- その他 公務災害補償、表彰、退職報奨金等

●問い合わせ先 相馬消防署新地分署 ☎22117

消息



5/21~6/20

届出

▷出生(届出は14日以内に)
おめでとうございます。

(子供)	(親)	(地区)
ひろみ 浩美	佐藤 武浩	新地町
かずみ 和美	渡部 清昭	新町
りょうへい 亮平	菅野 忠晴	今泉

▷死亡(届出は7日以内に)
おくりやみ申し上げます。

(死亡者)	(年齢)	(地区)
寺島 政信	37才	大戸浜
岩佐 加一	83才	中里
鈴木サタイ	80才	埴浜
小泉 清子	63才	新地町
永井 シマ	91才	富倉
八巻 幸一	71才	高田

※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

町長日記

荒 和英

- 5月 21日 相馬地域商工業協同組合総会
- 24日 駒ヶ嶺、福田小学校運動会、新地漁協総会
- 25日 相馬港湾施設促進協議会総会、相馬地方市町村会
- 26日 鹿狼山多目的保安林竣工式
- 27日 入札、自治研修センター理事會
- 28日 県町村会正副会長會、県町村会理事會
- 29日 県町村会定期総会、鉄道在来線活性化協議會
- 6月 1日 相馬地方行政連絡會
- 2日 相馬地方食肉センター竣工式
- 4日 県少年健全育成町民會、県羅災救助基金理事會
- 7日 議総会
- 9日 富倉運動會、相馬工業用水真野發電所營業開始記念式典
- 10日 農業改良推進員會総會、社会福祉理事會
- 11日 公共施設検討委員會、社会福祉法人しんち福祉会理事會
- 12日 行政区長會
- 14日 今泉運動會、福田老人婦人の集い
- 19日 6月定例議會議會
- 20日 教育フォーラム

こちら編集室



▼今月号は教育フォーラムと遠藤陶さんの講演を特集したため、いつもより頁数が多くなつてしまいました。編集前には、できるだけ文字を抑えて写真等で視覚に訴える紙面づくりを考えてのですが、どうもうまく行きません。文字が多く読む人も大変だとは思いますが、編集者の思いをお汲みとりください。▼いつも仕事に追われている世のお父さん方、もう夏です。今年の夏こそ、家族でキャンプを楽しむなど親子のふれあいの時間をもつてはいかがですか。(M・S)

人口&世帯

6月1日現在		()内は前月比	
人口	8,980人	(+5)	
男	4,397人	(+1)	
女	4,583人	(+4)	
世帯数	2,169世帯	(+6)	

発行と編集/新地町役場・企画振興課
(〒979-27)福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 ☎024422111

資源保護のため再生紙を使用しています。